岡谷市民病院
OKAYA CITY HOSPITAL



消化器
ヘルニアセンター

専門性とチーム医療で、
安心できる未来へ

鼠経部ヘルニアをはじめとする腹壁の疾患や食道裂孔ヘルニア、直腸脱など幅広いヘルニア類似疾患に対応いたします。患者さん一人ひとりの状態に合わせて、最適な治療をご提案し、安全で確実な医療を提供いたします。

当センターでは、低侵襲手術を第一選択として、創を小さくすることで痛みの軽減や早期回復を目指します。さらに、外科医、麻酔医、看護師、臨床工学技士など多職種が連携し、術前から退院まで一貫してサポートいたします。
また、最先端のロボット支援下手術も導入し、より安全で精度の高い治療に取り組んでいます。
＜ロボット支援下手術全体＞
（R7.10.25～R8.9.30まで　58症例実施）
※鼠経ヘルニアについては R8.7から10症例実施

対象疾患


鼠径部ヘルニア


その他の腹壁（瘢痕）ヘルニア


高度な食道裂孔ヘルニア


直腸脱

当センターの特長

❶低侵襲な手術



腹腔鏡・内視鏡下手術を第一選択とし、創を小さくすることで感染や痛みを軽減し、早期回復を目指します。

❷チーム医療で安心サポート



外科医、麻酔科医、看護師、臨床工学技士など多職種が連携し、術前から退院まで一貫して支えます。

❸スペシャリストによる最適な治療



ヘルニア治療のスペシャリストが、患者さん一人ひとりに最適な治療法をご提案します。

❹最新の医療にも対応



手術支援ロボットによる術式は、より安全で精度の高い最新医療を提供します。

初診から治療までの流れ

1 直接受診または紹介



受診をご希望の方は外科外来までご連絡ください。他の医療機関からの紹介は、紹介状をご持参のうえ、予約をお取りください。

2 初診・診察



診察と検査を行い、患者さんの状態を確認します。

3 治療方針のご提案



患者さん一人ひとりに最適な治療方針をご提案します。

4 手術・治療



低侵襲手術を中心に、安全で確実な治療を行います。

5 術後フォロー・退院



回復状況を確認し、安心して生活できるようサポートします。

【問い合わせ先】
受診をご希望の方：岡谷市民病院　外科外来　TEL0266-23-8000
他の医療機関からの紹介状をお持ちの方：地域医療連携室　TEL0266-23-8003

使用機器スペック

手術支援ロボット Saroa®

学会認定医による手術に使用され、
身体への負担が少ない低侵襲で
安全な治療を可能にします。



主な仕様

製品名	Saroa®（サロア）
クラス分類	クラスⅢ（高度管理医療機器）
一般的名称	手術用ロボットシステム
販売名	Saroa サージカルシステム
認証番号	303AIBZX00049000
ロボットアーム自由度	7自由度
対応診療科	消化器外科、泌尿器科、婦人科、 呼吸器外科 など
特長	高精度な3D内視鏡、手ぶれ補正機能、 スケーラブルなアーム設計による 低侵襲手術の実現

CT320列・80列撮影装置

高解像度によって「どこから・何が・どれ
くらい出ているか」を正確に確認し、
患者様ごとに適切な治療方針を決定する
ために活用します。



主な仕様

	CT320列	CT80列
検出器列数	320列	80列
ガントリ開口径	78cm	70cm
最小スライス厚	0.5mm	0.5mm
撮影時間（全身）	約4～6秒	約8～12秒
空間分解能	高分解能	高分解能
主な用途	がん検診、精密診断、 術前・術後評価など	一般撮影、術前評価、 経過観察など
特長	広範囲を短時間で高精細に撮影可能。 被ばく低減技術を搭載。	高精細な画像を効率的に取得。 幅広い診療に対応可能。

センター長あいさつ



**より良い低侵襲治療を追求し、
患者様の未来を支えます**

手術支援ロボットSaroa®をはじめとする
最新技術を活用し、安全性と精度の高い
低侵襲手術を提供しています。

患者様一人ひとりに最適な治療を追求し、
より良い回復と確かな治療効果を
目指して、チーム一丸となって
取り組んでまいります。

どうぞ安心してご相談ください。

飯沼　伸佳

内視鏡外科技術認定医
消化器外科学会指導医

専門医師紹介



三輪　史郎

内視鏡外科技術認定医
消化器外科学会指導医



横井　謙太

外科学会専門医

地域の皆さまの健康を支える、信頼されるヘルニア治療の拠点をめざします。

患者さんに寄り添う医療
安全で質の高い手術
地域医療との連携
安心のサポート体制

岡谷市民病院
OKAYA CITY HOSPITAL